

Eureka V

六年制通信 No.25 平成 29 年 11 月 25 日 (土) 号

「なぜ」と問うこと

『ラ・ロフシュコー箴言集』などを読んでいるといつも悩むことがあります。もちろん翻訳で読むわけですが、私たちはその翻訳の日本語を全面的に信じていいのかどうかということです。どんな優れた翻訳にも些細な誤訳はあるでしょうし、時には重大な誤訳もあるはずですが、ですから、読んでいて不自然な印象を持つ箇所があると、自分の読解力を棚に上げて、これは翻訳がおかしいからだと思ってしまいます。その点、初めから日本語で書かれた本は、意味の分からないところがあっても、何となく安心してしまいます。それで、福田恆存の『福田恆存語録』を読んでみると、難しいのだけれど、わからないのはこっちが悪いのだと素直に考えられるし、安心して深く読もうとすることができます。なるほど、と思う箇所も多いですね。(福田先生の訳された『老人と海』にも誤訳が指摘されていますが、というか、意識が多い気はしますが、まあ普通に読む分には支障はないでしょう。)

最近、『語録』を読みながら思わず「その通りだ」と、口に出てしまった文章があるので、少し引用してみましよう。福田恆存は歴史的仮名遣いの先生ですから、敬意を表してそのまま載せます。大丈夫、すっと読めますよ。

なにか発言しなくてはならぬとしても、自分にとつてもつとも切実なことだけ口を出すといふ習慣を身につけたらどうでせうか。ほんたうにいひたいことだけをいひ、ほんたうに腹が立つことだけに怒り、大げさにいふと、これがなければ自分が生きがひなしとおもふことだけを求める。いはゆる社会の不安など、それでだいぶ落ち着き得るのではないか。(文藝春秋社 p.66)

これは、何に対しても「わからない」と言っではいけないような、昨今の風潮を戒めています。人間はそう何にでも関心を持つものではないし、それなのに何か問題が起きると、中途半端な知識の人間が、まるでその問題を半生かかって考えてきたかのようなことを平気で言う。そういう、テレビや新聞をにぎわせる「コメント」が、福田先生はお嫌いなんですね。

私もそう思いますが、しかし、そう考えると、つまり自分の本当に言いたいことだけを通信に書こうとすると、むしろ何も書けなくなってしまうので困ります。ですから私としては、少なくとも自分で納得していることを書いていこうと思います。

前置きが長くなりました。今日は「5 why」の話をしてします。これはトヨタ自動車の分析システムです。何か生産過程でミスが起こったとか品質管理に問題があったときには原因究明が必要ですが、「なぜそうなったか」をだいたい5回繰り返せば、根本的な

解決方法がわかるというのです。ネットにあがっている「5 why」の例を引用してみましよう。

問題点：生産ラインの機械が動かなくなりました。

- ・なぜ機械は止まったのか → オーバーロードがかかり、ヒューズが切れたから
- ・なぜオーバーロードがかかったか → 機械接合部の潤滑が十分ではなかったから
- ・なぜ潤滑が十分でなかったか → 潤滑ポンプのくみ上げが不十分だったから
- ・なぜくみ上げが不十分だったか → ポンプの軸が摩耗していたから
- ・なぜ摩耗したか → 濾過器がついていないため切粉が入ったから

対策：濾過器をつけること

単純で分かりやすい例ですね。単純ですけど、このように「なぜ」を繰り返すと物事の本質とか今やらなければならないことなどが浮かび上がってくるようです。したがって、君たちが今しなければならぬことでも「繰り返し問う」ことで、はっきり見えてくることもあるかもしれませんね。ただし、「なぜ」ではなく「そのためには何が必要か」と問う方が、今の君たちには適していると思います。例えば君たちが、将来は世界で活躍できる人間になりたいと思つたとしましょう。そうすると例えば…

目標：世界で活躍できる人間になりたい

- ・そのためには → 国連で働く
- ・そのためには → 国連英検を取得する
- ・そのためには → 一日に3～4時間は英語の勉強をする
- ・そのためには → 自分の生活からそれだけの時間を見つけ出す
- ・そのためには → 朝早く起きて、英語の勉強に充てる

今すること：朝5時に起きて2時間英語を勉強する

これもきわめて単純に考えたものですから、多くの人には当てはまらないのかもしれませんが、サンプルとして考えて下さい。でも、こうやって実際に書いてみると、目標が本気であればあるほど、では今何をすればいいかが見えてくると思います。また、本気であるなら、一度決めたことは例外なく守れるとも思います。君たちもやがて学生になって、社会に出る日が近づくでしょうが、その時に明確な、本気の目標を持つことが大切になってくるわけですね。そこが曖昧だと「そのために何をするか」という問い自体に価値がなくなります。このことは覚えておいていいでしょうね。もちろん、一度決めたことを守れなくなる時もあるでしょうが、それで挫折してはいけませんよ。英語の諺にも *If at first you don't succeed, try try try again.* というのがあります。意味は分かりますよね。

さて、急いでつけ足すと、君たちが将来自分の目標を持ち、それを達成するには、いつも言うように、そのための直接の努力は当然ながら、間接努力を忘れてはいけません。これが幸運の女神は大好きなのですから。女神は心の美しい人を応援します。心の美しい人は、その人の視覚に入る世界を美しく保とうとします。「割れ窓理論」にもあるように、視覚の情報は心に影響を与えます。靴を揃えて脱ぐといった（これも立派な間接努力です）日常を大切にすることで、女神は応援してくれますよ。